

## 雲仙温泉歴史探訪コース：大黒天磨崖仏

別所ダムの道をおしどりの池（Oshidori Pond）に沿って歩くと、杉林に続く石の鳥居の前に着く。ここでは、富と幸運の微笑む神である大黒天の顔が巨大な岩に刻まれている。大黒天は元々インドの神であった。9世紀、日本の僧侶たちは中国に渡り、新しい宗教学を持ち帰り、大黒天信仰を故国に伝えた。1420年頃までには七福神として信仰されるようになった。

千年前、千人を超える僧侶が雲仙で暮らし、おしどりの池は多くの寺がある盆地だった。僧侶は、大黒天の崇拜などの霊的な伝統とのつながりを信仰していた。今日でも、雲仙の個人、商売人、会社全体がこの大黒天に祈り、供物をそなえて崇拜している。